

1995年

9月	9日 結成会開催（講師：大阪セルフヘルプ支援センター・浅野十糸子氏）
----	------------------------------------

1996年

3月	講演会「声なき声を聞きながら～意識障害の患者さんと共に歩んだ20年～」を開催 (講師：現筑波大学大学院教授、元札幌麻生脳神経外科病院看護部長・紙屋克子氏)
5月	親睦行事の実施。滋賀県の中央競馬会栗東トレーニングセンターで馬とのふれあいを楽しむ。
6月	学習会「わかりやすい脳の話～脳、その広大な宇宙～」 (講師:やまぐち脳クリニック院長/当会顧問・山口研一郎氏)
9月	会結成1周年記念行事と講演会 (講師:宮城県「ゆずり葉の会」会長・村岡サツエ氏/全国言語療法士協会・柏木敏宏氏)
10月	若者中心の忘年会を開催（日帰り）

1997年

3月	学習会「作業所建設を考える」（講師：堺市麦の会第二製作所/当会賛助会員・山河正裕氏）
5月	会報の創刊号を発行
5月	神戸「しあわせ村」で初めての宿泊行事が行われる。 (以降、毎年1～2回宿泊行事が行われている)
6月	兵庫県で遷延性意識障害者の実態調査の要望書を提出し、実現される。 兵庫県明石市において99年度にモデル事業が行われる。
10月	会結成2周年記念行事と講演会「不可能に挑戦していく人々の姿を追って」 (講師：医事ジャーナリスト・伊豆百合子氏)
12月	忘年会（後に「望年会」となって毎年開催）

1998年

3月	学習会「嚥下障害から口腔内ケアまで」 (講師：高槻市内開業歯科医師/当会賛助会員・成田青重氏)
6月	学習会「シグナルからサインへ」 (講師：自動車事故対策センター/付属千葉療護センター所長・堀江武氏)
9月	会結成3周年記念行事と講演会「わが愛と希望と戦いの日々」 (講師：松本サリン事件被害者・河野義行氏)
11月	「若者と家族の会・豊中連絡会」が発足

1999年

4月	学習会「脳障害者のリハビリテーション」 (講師：枚方市星ヶ丘厚生年金病院/理学療法士・稲村一浩氏)
7月	当会をはじめ全国の8団体で全国交通事故後遺障害者団体連合を結成
9月	会結成4周年記念行事と講演会「音楽運動療法の脳機能障害への挑戦」 (講師：東大阪市石切生喜病院脳神経外科部長・前田行雄氏)
10月	『生きててもええやん～「脳死」を拒否した若者たち』を自費出版
10月	中途障害者情報センター/若者と家族の会事務局として「三青園」開所とともに 高次脳機能障害部会発足 「音楽を楽しむ会」発足

※このころより裁判の傍聴支援盛ん

2000年

2月	当会会長、運輸大臣の私的懇談会の委員となる
4月	自賠責保険改革についての街頭署名活動（大阪駅前）
4月	日本脳外傷友の会発足（当会はその後準会員団体となる）
9月	会結成5周年記念行事と講演会「意識障害の患者さんと共に歩んだ30年～その初期から現状・問題点まで～」！（講師：現筑波大学教授・紙屋克子氏）

2001年

1月	やまぐちクリニック 奈良三青園で開院
3月	意識障害部会発足
4月	高次脳機能障害支援モデル事業開始
5月	脳外傷友の会「あすか」設立
7月	奈良障害者職業センターの職員に来て頂いて、就労についての学習会
8月	日本職業リハビリテーション学会近畿ブロック主催のシンポジウム「高次脳機能障害者の社会的支援」に当会も共催団体として参加
9月	結成6周年記念行事と講演会「高次脳機能障害からの回復」（講師：神奈川リハビリテーション病院・大橋正洋氏）
9月	意識障害部会、元運輸相伊藤茂さんの紹介で、他の会と共同行動で厚生労働省と交渉
11月	交通事故に関連し、他の会と合同で損保協会と交渉
12月	NPO法人「中途障害者情報センター」発足
12月	大阪府の高次脳機能障害モデル事業について大阪府と懇談

2002年

1月	意識障害部会 ショートステイについて関西労災病院と交渉
3月	大阪府地域リハビリテーションフォーラム 高次脳機能障害部会身障センターと話し合い
4月	中途障害者情報センター法人格取得・やまぐちクリニック開院1周年記念講演会とシンポジウム「脳は甦る～音楽運動療法の理論と応用」（講師：後藤幸生氏）
5月	高次脳機能障害を認めた初めての判決を当会会員が勝ち取る
7月	学習会「交通事故裁判の闘い方」 講師：永嶋靖久弁護士
9月	当会の「音楽を楽しむ会」のメンバーが「ドロップスの会」コンサートに参加
10月	結成7周年記念行事と講演会「地域で生きる－喜楽苑四園の取り組みから」（講師：社会福祉法人 喜楽苑理事長・市川禮子氏）
10月	「知られざる高次脳機能障害」を出版
11月	意識障害部会「社会的に難渋する問題」について、意識障害治療学会に報告

2003年

2月	学習会「在宅でのリハビリテーションアプローチ」講師：ST 永来努先生
3月	大阪府高次脳機能障害支援モデル事業・講演会&相談会でグループインタビューと個別相談会
5月	学習会；講師：勝山真介氏（大阪府身障センター）
7月	支援費制度学習会；講師：大阪府在宅課課長補佐 松井謙昌氏
8月	有志で障害者とともに阿波踊り「寝たきりになら連」に参加、以降毎年継続中
9月	結成8周年記念行事と講演会；「このまちで一人ひとりがその人らしく」（講師：のまネット西宮センター長／前・西宮青葉園施設長・清水明彦氏）
10月	病院・弁護士事務所について情報収集

2004年

3月	京都支部設立 兵庫支部、大阪支部も発足し、年に数回～12回程度各支部ごとに独自に会議が開催されていく
3月	中津川市中途障害者と家族の会設立
9月	結成9周年記念行事と講演会；「障害者の自立生活と支援費・介護保険」 (講師：DPI事務局長／尾上浩二氏)
10月	「全国遷延性意識障害者・家族の会」発足

2005年

1月	「相談事への対応についての学習会」（講師；赤松昭氏）
2月	「高次脳機能障害とリハビリテーション」の学習会
2月	会員向けの「病院満足度・精神的ストレス・裁判に関わる調査」報告書作成
3月	「抗けいれん剤」の学習会
5月	中丹脳障害者と家族の会「さくら」発足
※この頃より現在に至るまで、各地（奈良、大阪、京都、兵庫）で高次脳機能障害についての学習会盛ん	
9月	宿泊役員会
9月	結成10周年記念行事コンサート「愛と希望とほほえみと」；(マリンバ奏者・松本真理子氏)
9月	10周年記念誌「あなたの脳も危ないー福祉の谷間からの告発」刊行

2006年

1月	堺脳損傷協会発足
4月	NPO法人大阪脳損傷サポートセンター発足
6月	「オーストラリア感動と出会いの旅」を朝日新聞社厚生事業団の後援の下に実施
6月	神戸で「リハビリを考えるシンポジウム」開催
6月	リハビリ打ち切りについての反対署名を大阪阪神百貨店前で街頭署名活動を実施
7月	やまぐちクリニック 奈良市より高槻市に移転
9月	結成11周年記念行事と講演会 講演「いきいきと生きる」：スバル・トータルプランニング代表 半田まつ子氏 報告「オーストラリアにおける脳損傷の治療と地域ケア」：納谷敦夫氏

2007年

4月	高次脳機能障害者支援普及事業開始
	NPO法人中途障害者情報センター解散する
9月	結成12周年記念行事と講演会 講演；「団塊の世代は何を経験し、何を学んできたのか」 (講師:当会顧問・医師:山口研一郎氏) 報告；「当事者と家族の二つの回復」(講師：京都民医連中央病院・ST：中塚圭子氏)
11月	当会京都支部、京都新聞大賞福祉賞を受賞

2008年

4月	事務局を奈良市から移転の方向性で承認
9月	結成13周年記念行事と講演会 講演：「生と死・いのちを考える」(講師：関西学院大学准教授・藤井美和氏)
9月	事務局を大阪市の桜川に移転 今後の例会の在り方を変更し、奇数月は桜川で役員会を行い、偶数月は各支部が持ち回りで行事を中心に行う
10月	京都支部・京都新聞福祉賞受賞記念講演会